



地域の中で輝く大学を目指して

「DCU学士力」について



田園調布学園大学

Den-en Chofu University

令和7年6月7日

目次

1. 「DCU学士力」検討に至る社会的背景
2. 本学の取組：3つのポリシーと「DCU学士力」
3. カリキュラム（科目）と「DCU学士力」の関係

1. 「DCU学士力」 検討の社会的背景

▶文部科学省「学士力」

「学士力」 2008年（平成20年）：中央教育審議会の答申「学士課程教育の構築に向けて」

大学教育の**質保証の一環**として学士課程で育成されるべき能力を整理したもの
以下の4つの柱で構成

1. 知識・理解：専攻分野の基本的な知識を体系的に理解し、歴史・社会・自然との関連性を認識する。
2. 汎用的技能：コミュニケーション能力、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力
3. 態度・志向性：自己管理力、チームワーク・リーダーシップ、倫理観、市民としての社会的責任、生涯学習力
4. 統合的な学習経験と創造的思考力：これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力

▶経済産業省 「社会人基礎力」

「社会人基礎力」 職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力 2006年（平成18年）に経済産業省が提唱

3つの能力と12の能力要素から構成：

1. 前に踏み出す力（アクション）

- ・ 主体性
- ・ 働きかけ力
- ・ 実行力

2. 考え抜く力（シンキング）

- ・ 課題発見力
- ・ 計画力
- ・ 創造力

3. チームで働く力（チームワーク）

- ・ 発信力
- ・ 傾聴力
- ・ 柔軟性
- ・ 状況把握力
- ・ 規律性
- ・ ストレスコントロール力

▶ OECD 「Education 2030」 プロジェクト

2030年に向けて必要な力として、以下のようなコンピテンシー(特定の職務や状況において高い成果を上げるために必要な能力や行動特性)を挙げている

- 新たな価値を創造する力：変化の激しい社会で、創造力や好奇心を活かし、他者との協働によって新しい仕組みを生み出す能力。
- 対立やジレンマを克服する力：異なる意見や価値観の中で、統合的に考え、協力しながら問題を解決する能力。
- 責任ある行動をとる力：自分の行動や決定に責任を持ち、持続可能な社会の実現に貢献する能力。

DCU学士力（基礎力）の検討 2017年度より

【2020年度より公表】

- ▶ 本学の学生全員に身につけてほしい力
- ▶ 全学共通のものとして5つの柱(知識・技能、思考力、コミュニケーション力、意欲・姿勢、問題解決力)からなり、その内容として、それぞれに6-7項目設定している。
- ▶ DCU学士力（基礎力）は、シラバス等で各科目との関連を示している。毎年度、学修成果の自己評価を行い、教員からのコメントを踏まえて振り返りを行うことができるよう評価表（学修支援シート）を作成している。
- ▶ 学生に自己評価の形で成長を自覚してもらい、面談で課題の見出や学修計画の立案に役立てることを目的としている。

DCU学士力 基礎力

学生全員が身に付けてほしい能力です

① 知識・技能

- ・読む・書く・話す基礎力が身についている。
- ・生活に必要な数的思考が身についている。
- ・自分の考えを文章や図にすることができる。
- ・簡潔な言葉で説明することができる。
- ・情報を収集することができる。
- ・収集した情報を整理することができる。

② 思考力

- ・物事に対して問いをもつ姿勢がある。
- ・物事を柔軟に考えることができる。
- ・知識を結び付け関連について考えることができる。
- ・比較検討する力がある。
- ・ある物事について想像することができる。
- ・独自のアイデアを生み出すことができる。

DCU学士力 基礎力とは

基礎力は、本学の学生は学科や専攻に関わらず全員が身につけ、使いこなせるようにしなければならない必須修得能力です。「知識・技能」「思考力」「コミュニケーション力」「意欲・姿勢」「問題解決力」の5分類で、具体的には全32項目あります。

③ コミュニケーション力

- ・挨拶をすることができる。
- ・人の話を聴くことができる。
- ・相手の状況を推しはかることができる。
- ・自分の考えを表現することができる。
- ・他者と意見の交換ができる。
- ・他者と協力することができる。

⑤ 問題解決力

- ・課題を発見することができる。
- ・課題を解決する方法を考えることができる。
- ・課題解決までの計画を立てることができる。
- ・課題解決に必要な知識や技能を選択することができる。
- ・課題解決に向けて計画的に行動することができる。
- ・実行した課題について振り返ることができる。
- ・振り返りを次に生かすことができる。

④ 意欲・姿勢

- ・人やモノ等に対する好奇心がある。
- ・目標をもって行動することができる。
- ・自分を客観的にみることができる。
- ・感情のコントロールができる。
- ・学生としての生活習慣が身についている。
- ・学習習慣が身についている。
- ・他者を尊重することができる。

教学マネジメント指針 (2020年1月 中央教育審議会)

1. 学修者本位の教育への転換

- 供給者目線から学修者目線へと教育の構造を転換
- 学生が主体的に学び、学修成果を適切に評価できる環境を整備する

2. 教育の質保証と社会的信頼の向上

- 学修成果の可視化を進め、教育の透明性を高める

2. 3つのポリシーとDCU学士力

「3つのポリシー」大学教育において、教育の質を保証し、体系的な学びを促進するために策定される基本方針

1. ディプロマ・ポリシー

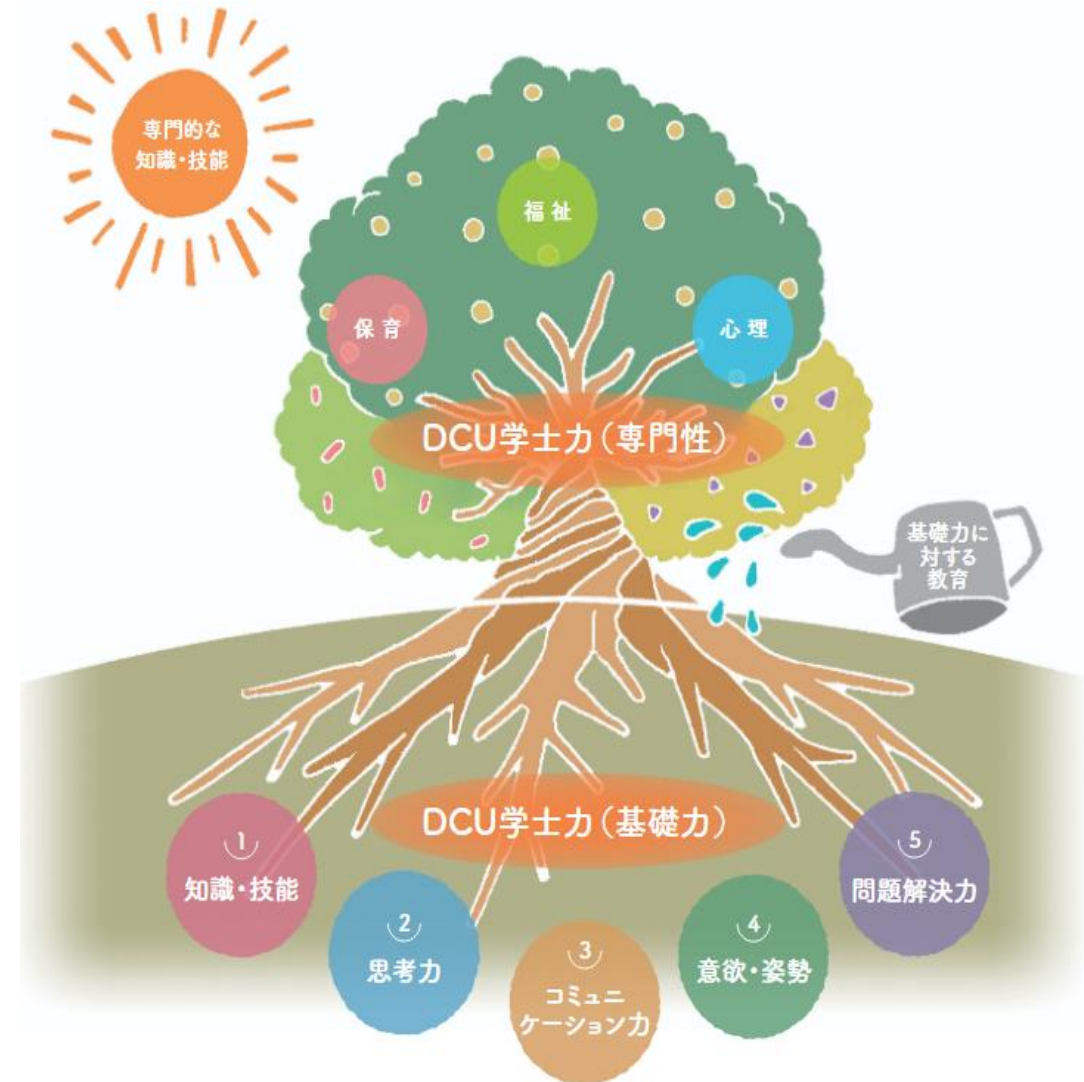
（卒業認定・学位授与方針）：大学が卒業生に求める資質や能力を明確にし、学位を授与するための基準を定める方針

2. カリキュラム・ポリシー

（教育課程編成・実施の方針）：ディプロマ・ポリシーを達成するために、どのような教育課程を編成・実施するかを定める方針。教育内容や学習方法、評価基準など

3. アドミッション・ポリシー

（入学者受け入れ方針）



DCU学士力（基礎力）

人として社会人として

これからの未来を生きるために身につけてほしい力

（全科目）

DCU学士力（専門性）

学科専攻の専門科目を学ぶことで身につく、

その力を生かして社会に貢献できる

（主に専門基礎科目、

専門発展科目）

DP（ディプロマ・ポリシー）

2025(令和7)年度以降 3つのポリシー

【教育目標】

田園調布学園大学は、建学の精神である「捨我精進」を教育理念の基盤とし、社会に貢献しうる、質の高い「実践力」を有する人材を育成することを教育目標とする。

【卒業認定・学位授与の方針】(ディプロマ・ポリシー)

田園調布学園大学は、建学の精神並びに教育目標に基づき、「DCU学士力(基礎力)」に掲げる各能力を修得するとともに、それぞれの学部・学科・専攻で求められる「DCU学士力(専門性)」を身につけ、所定の単位を修得した者に対して卒業を認定し、学位を授与する。

【DCU学士力(基礎力)】

1.知識・技能

学びや生活に必要な基本的な知識・技能が身についている。

2.思考力

知識・技能を基本として、物事に対して問いをもち、柔軟な思考をすることができる。

3.コミュニケーション力

自分の考えを他者に伝え、また、他者を理解しようとする姿勢をもって協力することができる。

4.意欲・姿勢

他者を尊重し自己を律する姿勢と意欲をもち、目標をもって行動することができる。

5.問題解決力

課題を発見し解決するまでのプロセスにおいて、学修した知識・技能、柔軟な思考力、コミュニケーション力と意欲をもって行動することができる。

3. カリキュラム（科目）と「DCU学士力」の関係

▶ ・「基礎力」：

☞カリキュラム設計について学科専攻が責任をもつという考えに基づき、科目と項目の選択（紐づけ）を学科、専攻で行う。成績と関連付けて振り返りシートに反映することで、自己評価とともに客観的評価との比較を可能とする。

▶ ・「専門性」：基礎力との差別化

☞「特色明示型」をコンセプトとし、学科専攻の特色を示す専門性のキーワードを10項目選定し科目との対応を検討・調整。

「DCU学士力 (基礎力)」

「DCU学士力 (専門性)」

子ども教育学科 開設授業科目

区分	授業科目 (2025年度以降入学生)	必修 選択の別	学年	開講期	単位	授業形態	資格 ※1										DCU 学士力 (基礎力) ※2					DCU 学士力 (専門性) ※3										備考
							小学校教諭 養成課程 種	幼稚園教諭 養成課程 種	保育士	社会福祉主事 任用	准学校心理士	ピアヘルパー	ジュニアスポーツ インストラクター	知識・技能	思考力	コミュニケーション力	読解力・姿勢	問題解決力	子ども理解	教育・保育の制度と体系	幼児小連携	教育・保育の多様性	子育て支援・保護者支援 と地域連携	教育・保育実践	アット表現	スポーツ健康	教科の指導法	保育内容の指導法				
専門基礎科目	保育・教育マインド実践講座	必修	1	通年	2	演習	●	●	●								○	○														
	子ども理解の理論と方法	必修	1	通年	2	演習	●	●	●									○	○			●										
	教育の原理	必修	1	前期	2	講義	●	●	●					○	○		○			●	●											
	保育原理	必修	1	前期	2	講義		●	●					○	○		○			●	●											
	社会福祉概論	必修	1	前期	2	講義		●	●					○	○		○			●			●									
	子どもと音楽表現I	必修	1	前期	1	演習		●	●								○	○														●
	子どもと造形表現I	必修	1	前期	1	演習		●	●								○	○														●
	子ども家庭福祉論	必修	1	後期	2	講義			●	●					○	○		○			●			●								
	発達心理学	必修	1	後期	2	講義	●	●	●					○	○				●		●											
	子どもと音楽表現II	必修	1	後期	1	演習		●	●								○	○														●
	子どもと造形表現II	必修	1	後期	1	演習		●	●								○	○														●
	子どもと健康	必修	1	後期	1	演習		●	●						○	○																●
	教職概論	必修	2	前期	2	講義	●	●	●					○	○		○			●	●											
	カウンセリング	必修	2	前期	2	講義	●	●				●					○	○		○		●										
	保育内容(健康)	必修	2	前期	2	演習		●	●							○	○		○													●
	子どもと人間関係	必修	2	前期	1	演習		●	●							○	○		○		●											●
	子どもと言葉	必修	2	前期	1	演習		●	●							○	○		○		●											●
	カリキュラム論	必修	2	後期	2	講義	●	●	●								○	○				●	●									
	特別支援教育・保育論	必修	2	後期	2	演習	●	●	●			●					○	○				●	●									
	保育内容(人間関係)	必修	2	後期	2	演習		●	●								○	○														●
	保育内容(言葉)	必修	2	後期	2	演習		●	●							○	○		○													●
	子どもと環境	必修	2	後期	1	演習		●	●							○	○		○		●											●
	保育内容(環境)	必修	3	前期	2	演習		●	●							○	○		○													●
	保育内容(表現)	必修	3	前期	2	演習		●	●							○	○		○													●
	教育・保育の方法及び技術 (情報通信技術の活用含む)	必修	3	後期	2	講義	●	●	●					○			○	○			●	●										
	教育相談	必修	3	後期	2	講義	●	●		●						○	○		○			●	●									
	学校経営論	必修	3	後期	2	講義	●	●										○		●		●	●									
	児童文化	必修	3	後期	2	講義		●	●							○	○		○				●									
	保育内容総論	必修	3	後期	2	演習		●	●							○			○													●
	スポーツ(保育)	選択	1	後期	1	実技			●							○	○		○													
	教育史	選択	2	前期	2	講義	○	○							○	○		○			●	●										
	国語	選択	2	前期	2	講義	○								○	○		○														●
	生活	選択	2	前期	2	講義	○									○	○		○			●										●
	音楽	選択	2	前期	2	講義	○									○	○		○			●										●
	図画工作	選択	2	前期	2	講義	○									○	○		○			●										●
	体育	選択	2	前期	2	講義	○									○	○		○			●										●

必修
50 単位

「専門基礎科目」
又は
「専門発展科目」
の選択科目から
42 単位以上選択

必修
50単位

「専門基礎科目」
又は
「専門発展科目」
の選択科目から
42単位以上選択